

## 利府町文化交流センター リフノス

宮城県  
利府町

地中熱



利府町文化交流センター リフノス

## 「賑わい」をキーワードに、交流が生まれ絆が深められる場を

利府町は宮城県のほぼ中央に位置し、東は日本三景・松島の一角をなし、西は杜の都・仙台市に隣接している。縄文時代から近世にかけての遺跡が数多く存在し、古くから人の営みがあったことがうかがえる。近世に入ってからには仙台城下に隣接していたことから、交通の要衝として栄えた。現在では、仙台市のベッドタウンとして子育て世帯を中心に若い世代から人気が高い。

利府町文化交流センター「リフノス」は、利府町に暮らすすべての人の交流と絆を深められる「場」を創り出すことを目指し、「賑わいが生まれる大きな屋



エントランスホールのエコツリー

根」、「賑わいをつなぐエントランスホール」、「賑わいが街に広がるランドスケープ」の3つのテーマで設計を進め、2021年7月に「町民みんなで支え成長する新拠点」としてオープンした。

本施設は、本を通じた感動や発見を提供する図書館、あらゆる世代が学びあう場を提供する公民館、晴れの舞台を創出する文化会館からなる複合施設として機能する。

愛称の「リフノス」は、「巣のように皆が集まって育ていける場所」となることを願って名付けられ、賑わいの創出や芸術・文化・音楽などさまざまな活動に活用してほしいという想いが込められている。

## 地域の環境問題に配慮した先進的なモデル事業として

建物内には、大きな屋根を支える特徴的な4本の組柱からなる「エコツリー」が10か所配置されており、その上部から自然光が降り注ぎ、施設内の照明負荷の低減につながっている。照明器具もLEDを採用し、一部に太陽光

発電システムも取り入れており、施設全体を通して省エネルギーに取り組んでいる。

また、一年を通して安定した地中熱を利用して冷暖房を行う地中熱空調システムにより冷暖房の効率が向上し、排出するCO<sub>2</sub>の削減という環境問題に配慮した、地域の先進的なモデル事業として広く発信していくことを目指している。



地中熱ヒートポンプチラー

## 利府町文化交流センター リフノス

所在地：宮城県宮城郡利府町森郷字新椎の木前31-1  
建築設計：(株)佐藤総合計画  
建築施工：五洋・小板橋特定建設工事共同企業体  
延床面積：5,308.01㎡  
竣工：2021年 新設  
URL：<https://rifunosu.jp/>

## ■ 設備概要

地中熱ヒートポンプシステム(冷却)  
181kW  
地中熱ヒートポンプシステム(暖房)  
205kW [ゼネラルヒートポンプ工業]

